した。になったねと手紙で返事が来た。なんとなく一人前になった気が料が二十円であった。これを母親に知らせたら、おまえも一人前である。大正十年秋のことで、お手当は月二十円、ちょうど下宿

のためとはいえ精読したのはこのじぶんで、 義もできないし、だいたい具体的な話をしないと生徒がうけつけ がなかったし、 ラスであった。まえから美学会でなじみであった菅原教造先生が 学年がわりの時から美学の講義を持つことになった。四年生のク この美学を抜けきれないでいる。森鷗外先生も美校で美学を講ぜ に譲られたのであるがこれには大弱りした。手頃な日本の参考書 かった。 ども一面本気で勉強するものもいて教師としての気分はわるくな どうとかこうとか評判されそのでたらめさが伝えられているけれ 弱ったが勉強にはなった。そのじぶんの生徒は今より出席もよか 難かしいやつを使ってやろうとウォルター・ペーターのルネサン のじぶんの生徒の顔を想いだすことができる。よく美校の生徒は スとカーライルのサァタァ・リサータスを使った。実はこちらが とかで強そうな奴が威圧的な代返をやる。くやしいから教科書に らしい生徒もたくさんいる。当時美校の角力部は全盛時代だった いっておられたのであるが美学科卒業であるというので若僧の私 英語が週十時間。 私がフォルケルト美学三巻とデッソアールの本を講義準備 私の性分に合ったところがあったのかもしれない。翌年 よくついて来たように思う。満点にちかい点を取ったそ 阿部次郎先生の岩波版「美学」だけのらけ売り講 こちらが若いし自信もない。 そのおかげで今でも 自分より歳の上

でいない外国文学などをやたらに読んでフォルケルトの言うことから美校での話には都合がよかったのである。このおかげで読んフォルケルトの本が読み易いし美術文学の作品例が豊富であったは先生だったから妙な因縁である。別に意識したわけではなく、られたことがあったのだが、フォルケルト美学の日本への紹介者

を納得しようとした。

こんなことから私の美校教師時代が始まったのであるが、

はおおかた亡くなられ生徒であったもののうちから大家になったはおおかた亡くなられ生徒であったもののうちから大家になったが師と友人の善意のほかに、これら学生たちの実際の勉強と仕事が師と友人の善意のほかに、これら学生たちの実際の勉強と仕事ががある大人の善意のほかに、これら学生たちの実際の勉強と仕事ががある。考えれば幸な出発であったかどうかはわからないはおおかた立くならよりほかはない。

が見られ始めたのもこのころからのように思う。にして社会の様相も急変したとよく言われるけれども学校での私たとから言いわたされてだんだん苦労も多くなり社会や思想の推先生から言いわたされてだんだん苦労も多くなり社会や思想の推た生から言いわたされてだんだん苦労も多くなり社会や思想の推定して社会の様相も急変したとよく言われるけれども学校での私にして社会の様相も急変したとよく言われるけれども学校での私にして社会の様相も急変したとよく言われるけれども学校での私にして社会の様相も急変したという。

⑤ 卒 業 式

れ、左記の生徒が卒業した。 昭和二十四年三月二十四日、第五十九回卒業証書授与 式 が 行

わ

大陶佐内中大池菊渋土小玉高奥 彫刻和 田地谷谷柳 田島橋 科 科 木彫 日出 謙隆 塑造部 龍 英 康 光 春 正 元 五.博 弘夫直男部治義雄也熙造夫二一武雄

宮海大池 老沢伊 藤伊 工芸科彫 高森清藤戸伊小山吉富中奥 工芸科鍛金部 宮 脇 水 沢田 中野 三四四 貞 武 英 隆信 利 元 和信 図 IE. 金部 郎啓雄公 夫 恒 夫 三 孝 行 隆弘夫作一

| 油 | | 日 | 区 |
|-----|-------|-------------|-----|
| 画 | | 本画 | |
| 科 | | 科 | 別 |
| 特別学 | 本 | 本 | |
| 子生 | 科 | 科 | |
| 五. | 四 | 一六 | 第二年 |
| | 三七 | | 第三年 |
| | 四一 | 一七 | 第四年 |
| | | _ | 第五年 |
| | | | 第六年 |
| 六 | 未復7 | 未 復 7 | 小計 |
| | Ξ | 六 | 計 |

各科生徒級別現員表

昭和二十四年四月一日

佐斎上浅魚篁神亀岡真伊 吉鈴杉末由 師 藤 利 野 田 谷川村鍋藤 川木山広良 節 正之 逸 耕柳 道 科 晴 視満助雄作児寿豊勲男男 夫 彰 隆 彦 滋

大 神 杉 桜 野 立 善 尾 大 橋 市 石 伊 西 森 広 新 沢 田 原 井 村 原 浪 崎 附 本 村 川 藤 村 場 川 清 慶 良 健 幸 納 頭 正 清治 第 元 司 治 郎 雄 迪 雄 晋 夫 恒 勇 彦 次 郎 治 一

1109 第4節 昭和24年